

皆さん、初めまして。橋立中学校のアシュリーと申します。

突然ですが、皆さん、コーヒーはお好きですか。私の故郷であるアメリカの南カリフォルニアの人々の多くは、コーヒーをととても愛しており、コーヒーなくして人生は語れないほどです。町の至るところにコーヒーショップがあり、それぞれ独自のコーヒー豆を焙煎しており、さまざまな味や香りを楽しむことができます。私もコーヒーが大好きで、大学の授業や仕事を頑張ろうと思ったときには、必ずコーヒーを飲むようにしていました。

しかし、大のコーヒー好きの私ですが、日本に来てからコーヒーより好きな飲み物ができました。それは「お茶」です。南カリフォルニアにたくさんの種類のコーヒーがあるように、お茶にもたくさんの

種類があります。日本でお茶を焙煎しているお店の前を通ったときは、とても良い匂いがして、思わず幸せな気持ちになりました。

私は日本にいるうちになるべく多くの種類のお茶を試し、私に最も合ったお茶を見つけ出したいと思っています。また、お茶が好きになった私にとって、京都がお茶の有名な産地であることは大変嬉しいことでした。

先日、宇治茶の産地で茶畑とお茶の生産工場の見学体験ツアーに参加しました。ツアーでは茶葉を摘む体験と、お茶の焙煎や茶葉を天ぶらや

デザートにする過程を楽しむことができました。おいしいお茶だけではなく、おいしい天ぶらやデザートにもなるお茶は、本当にすばらしいと思います。

皆さんもお気に入りの種類やお茶を使用した食べ物などご存じでしたら、ぜひ教えてください。

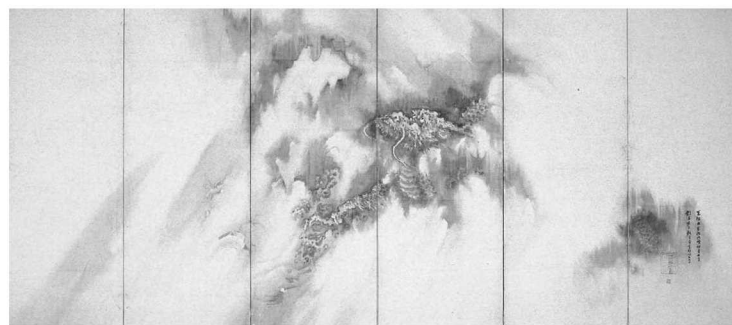


お茶はとてもいい香りがして、癒しになりますね

時の贈り物 [第121回 雨を呼ぶ龍の屏風]

ちりめん街道・旧尾藤家住宅の奥蔵に残されていたさまざまな絵画の中から、江戸時代の京都で活躍した画家の岸駒(1749-1839)が描いた六曲屏風「雲龍図」を紹介いたします。「雲龍図」を紹介します。岸駒は岸派の創始者となった画家で虎を得意とし、岸駒以降、虎図は岸派代々のお家芸とされました。本図は、広報よさの2月号(No192)で紹介した岩山を駆ける虎を描いた「咆虎図」と対になり、六曲一雙屏風「雲龍・咆虎図」の向かって右半分を構成しています。天保9年(1839)の記述があり、最晩年の作品とわかります。

水をたっぷり含ませた墨で、にじみをいかして描かれた雲の隙間から龍が顔と体の一部をのぞかせています。余白を大きくとることで、空の荒れ模様や長くうねる龍の巨体を見る者に想像させます。雨雲とともに描かれることの多い龍は、雨と密接な関係にあります。大事な家屋を火災から守る縁起担ぎであり、ま



岸駒筆「雲龍図」 紙本墨画 六曲屏風

た禅宗寺院の本堂では、会衆に仏法の雨が降り注ぐようにと天井に描かれたりもします。同じ理由からでしょうか、旧尾藤家住宅の仏壇の天井にも龍図が配置されています。岸駒の龍の屏風は、江山人庫で実施している企画展「屏風あれこれー新収蔵屏風とともにー」で虎図と一緒にご覧いただけます
(与謝野町教育委員会)

与謝野町の広報活動全般

Q8 町政情報が伝わっている感じていますか。

- 十分伝わっている 少し伝わっている あまり伝わっていない 伝わっていない

Q9 町政情報を取得するのに充実を希望する広報媒体はありますか。(上位3つまで回答)

- 広報よさの ホームページ 有線テレビ FM告知 議会だより
 フェイスブック ユーチューブ ツイッター インスタグラム ライン(未開設)
 その他()

Q10 町政に対し意見や要望を伝えたことはありますか。(複数回答)

- 町政懇談会・議会懇談会に参加 投書・メール 電話・窓口 各種委員会等に参画
 伝えたことはない その他()

Q11 町政に対して意見や提言をするため、どのような機会があれば参加したいですか。

- 地域別に町長などと話す機会 団体・グループ単位で町長などと話す機会
 オンラインを活用 メール・町ホームページに問い合わせ 特に伝えたいと思わない
 その他()

その他

Q12 まちづくりへの関心度を教えてください。

- 関心がある 少し関心がある あまり関心がない 関心がない

Q13 与謝野町の広報・広聴に関するご意見(自由記述)。

回答先・
問い合わせ先

与謝野町企画財政課 広報情報係
〒629-2292 与謝野町字岩滝 1798 番地 1
☎ 43-9015 ■ ファックス 46-2851
■ メール kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp

